

オオカミが大へと進化できた理由、それは炭水化物を分解する能力を獲得することができたからだといわれています。

先日、米岡アカアミー紀要に一つの論文が発表されました。1万5千年ほど前に中央アジアに生息していたユーラシアオオカミを飼いな



北島動物病院院長 北島 健司 (富山市)

らすことによって犬が誕生した可能性が高いそうです。人はオオカミを飼いならすことで、他の危険な動物から身を守る事ができたようです。

オオカミの立場で考えてみましょう。肉食動物のオオカミは、グループをつかって生活していました。それぞれのグループは警戒心が強く、人里からも離れて生活していたことでしょう。ある時、警戒心のちよつとゆるいグループがいたと想像してみましよう。このグループは人里近くまで生息範囲を広げることができたものと思われま

犬がオオカミから進化できた理由



犬の歯の模型。人とは歯の形状がかなり異なる

↑ 炭水化物を消化する能力を身に付けたことで、犬はオオカミから進化できた

かわいらしい犬たち。炭水化物を消化する能力を身に付けたことで、犬はオオカミから進化できた

で比べてみましょうか。人の下顎は上下だけでなく、前後にも左右にも動きまますよね。これは食べ物をよく噛むために獲得した形です。それに対し、犬の下顎は上下にしか動きません。これは食べ物を食いこむために進化

炭水化物の消化可能に

必要な形です。歯の形も比べてみましょう。人の歯は硬いエナメル質で覆われ、全体的に平らにできています。堅い木の実などを噛みつぶしたりする必要もあるため進化してきた形です。犬の場合は奥歯まで凸凹が激しいですね。食

化物分解酵素のことです。人は唾液にもアミラーゼを出すことができて、よく物を噛むことで口の中で炭水化物をおおまかに分解します。子供のころ、お米を百回噛みなさいと言われたものです。すとお米はべちゃべちゃになり

ます。これが唾液アミラーゼのチカラ。唾液アミラーゼを持つ動物は人以外では、一部の霊長類と、もともと穀類を主食とするげっ歯類をうです。残念ながら犬にはありません。ここで一つ言っておかなければならないことがあります。研究をしている先生の中には、「犬や猫にも唾液アミラーゼはあるが、無駄になっているだけだ」とする方もいらっしゃいます。でも、この考えには無理があると思います。長い年月、何世代もかけて進化のエネルギーを使

「いつも一緒 富山のペットたち」は、毎月第1木曜日に掲載します。

つてまで無駄な進化をするとは思えません。特に猫は肉食動物です。トラやライオンを思い浮かべてみてください。

一部のオオカミは長い年月、世代を繰り返して炭水化物を消化する能力を獲得し、人の利益とも重なる大へと進化することができました。